

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	し尿処理事務に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	2	3	
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	合併浄化槽設置補助制度について周知PRを図り、更なる設置に向けて調査・研究をする。また、し尿処理手数料の徴収率が低下傾向であるため、その向上のため、徴収の強化を行う。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	汲取り便槽及び浄化槽の転換数の増加を図るため、対象者に対して更なるPR活動等を行い当該制度の利用促進を図る。
②①に基づく取り組み結果	補助制度の利用促進のためのお知らせ等を行い、補助制度の利用者は18件となった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①汲取り便槽を使用している市民等 ②下水道事業認可区域を除く市域に合併浄化槽を設置しようとする者	意図(対象をどうするのか)	①し尿による水質汚濁の防止及び生活環境の保全 ②家庭から出る生活雑排水の水質汚濁物質の軽減
②事務事業の概要	し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行う。また、水質汚濁を防止するため合併浄化槽の設置を補助する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	長期的には、公共下水道の整備により汲取り世帯及び単独浄化槽世帯の減少が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	合併処理浄化槽の転換設置に対して、設置費の一部について補助を行った。(18件)					
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i	し尿収集・運搬率	100	100	100%	業務取得
	ii	し尿処理手数料徴収率	97.4	98.0	98.2%	業務取得
	iii	補助金利用設置合併浄化槽基数	20	4	18基	業務取得
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	84,775	93,333	金額(千円)	内容	96,007	
国支出金(千円)	1,064	2,572	81,472	し尿収集・運搬等	3,030	
県支出金(千円)	966	4,046	10,798	浄化槽設置補助	4,710	
市債その他(千円)	12,812	12,402			11,622	
一般財源(千円)	69,933	74,313			76,645	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	昨年度は合併転換者が増加に転じたが、今後の先行きは不透明であり、汲取り便槽及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換の件数が伸び悩むことが予想される。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	合併浄化槽設置補助事業をより効果的な補助制度とするため、制度の周知等について更なる精査検証を行う。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H30→R1繰越		
③達成状況		補正		現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当		
		令和2年度への繰越額(単位:千円)		

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(し尿処理等)	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	2	3	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	アクアセンターあじさいの修繕計画について、環境衛生組合及び構成市と調査・協議を行ったうえで作成する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	アクアセンターあじさいの修繕計画について、環境衛生組合及び構成市との調整・協議を引き続き行っていく。
②①に基づく取り組み結果	焼却施設の延命化等の計画との整合性を図る必要があるため、あじさいの修繕計画の調査協議について引き続き協議を継続する必要がある。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①公共下水道を使用していない者 ②柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	意図(対象をどうするのか)	し尿及び浄化槽汚泥の適正処理
②事務事業の概要	構成団体(柏市沼南地区・白井市・鎌ヶ谷市)の地区内で排出されたし尿、浄化槽汚泥を適正処理するために施設維持管理等の経費を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。長期的に公共下水道供用開始区域の拡大により処理量の減少が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	し尿処理費用に係る負担金を支出した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i	し尿処理率	100	100	100	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	172,212	211,795	金額(千円)	内容	224,153	
国支出金(千円)			44,465	管理費		
県支出金(千円)			167,330	し尿処理費		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	172,212	211,795			224,153	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	脱水汚泥焼却炉等、各設備の老朽化が進んでいるため必要な修繕計画を検討していく。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	令和2年度への繰越額(単位:千円)				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	狂犬病予防等に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	1	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、従前行っていた接種の督促回数を増加、強化を図る。 「飼い主のいない猫不妊・去勢補助事業」の枠と機会を拡大し、「飼い主のいない猫」の個体数の抑制を図り、動物愛護法に規定されている「人」と「動物」の共生社会を目指す。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	狂犬病予防集合注射の接種率が下がっているため、未接種の犬の所有者に対し接種を促すための対策強化を図る。 また、「飼い主のいない猫不妊・去勢補助事業」については、事業開始後7年が経過することから、事業の在り方について獣医師会と協議する必要がある。引き続き、「飼い主のいない猫」の個体数の抑制を図り、保健所巡回指導の強化を図る。
②①に基づく取組み結果	狂犬病予防注射の督促回数を増加(年2回)したが、接種率は若干の減少であった。 「飼い主のいない猫」の予算額を倍増したことにより、前年より不妊・去勢手術を実施することができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内畜犬、飼い主のいない猫	意図(対象をどうするのか)	狂犬病の発生の予防・蔓延を防止及び撲滅する。また飼い主のいない猫の個体を抑制し、動物愛護法に規定されている「人」と「動物」の共生社会を目指す。
②事務事業の概要	狂犬病による被害を防止するため、犬の登録及び予防注射(集合注射)を実施する。 登録や予防注射済みの所有者に鑑札及び注射済証を交付する。 集合注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札及び注射済証の交付を行う。 また、動物愛護の観点から「人」と「動物」との共生社会を目指し、「飼い主のいない猫」による生活環境への影響を最小限に抑えるため、不妊去勢手術を行い、「飼い主のいない猫」の増加抑制を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	狂犬病予防法により、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種が義務付けられているほか、ペットの社会的位置づけが替わり、動物の愛護及び管理に関する法律の改正されたことにより、人と動物が共生できる社会に至るには、長期間のスパンでの持続的対策が必要となってくる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	・狂犬病集合注射(市内17か所、7日間)の実施、未接種犬の飼い主に対する督促の実施 ・飼い主のいない猫不妊・去勢助成事業規模を拡大して実施。また「飼い主のいない猫適正飼養普及員」の1名任命、普及員を増やすことができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	畜犬登録数に対する予防注射接種率	72.94	75.4	74.3	%	
	ii	飼い主のいない猫死体処理数	304	305	283	頭	
	iii	飼い主のいない猫不妊去勢実数	13	26	56	頭	
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算	
事業費(千円)	4,184	4,094	金額(千円)	内容		5,156	
	国支出金(千円)		1,971	非常勤賃金			
	県支出金(千円)		90	印刷製本費			
	市債その他(千円)		285	鑑札等作製委託			
	一般財源(千円)	4,184	4,094	9	畜犬登録促進指導委託	5,156	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	ここ数年の狂犬病予防注射の接種率の伸び悩み(73%台)を解消する必要がある。 また、「飼い主のいない猫」の人への生活被害が寄せられている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	狂犬病予防法により、市に義務付けられた業務であるため、未接種犬の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。 糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体数を抑制するため、今後も継続していく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		令和2年度への繰越額(単位:千円)				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	第2斎場建設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	市村 昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	新築工事(建築・電気・空調・給排水衛生・外構等)を実施する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	第2斎場建設事業完了のため、なし。
②①に基づく取り組み結果	第2斎場の建設を完了し、令和元年10月に「しおかぜホール茜浜」として供用を開始した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	四市複合事務組合(船橋、習志野、八千代、鎌ヶ谷)	意図(対象をどうするのか)	社会慣習、公衆衛生、その他公共の福祉の観点から支障なく行われる
②事務事業の概要	四市複合事務組合(船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市)が建設する第2斎場整備に必要な経費の負担を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	高齢人口の増加に伴い火葬件数が増加しており、既設の馬込斎場の拡充、増設の余地がなく火葬能力の限界に近づいている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	四市複合事務組合による第2斎場建設費に係る負担金を支出した。(主な事業:本体建設工事、各設備工事等の実施)						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	馬込斎場利用率	94	96	98	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	159,969	145,000	金額(千円)	内容	0		
国支出金(千円)			145,000	四市事務組合負担			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)		126,000					
一般財源(千円)	159,969	19,000			0		

IV 評価・検討

①課題	既存の馬込斎場に加え、令和元年10月に第2斎場が開業し管理運営費負担額が増加したため、適正な管理運営が行われているか精査・確認を行う必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	第2斎場の建設を完了し、令和元年10月に「しおかぜホール茜浜」として供用を開始したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	負担金の支出	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	負担金の支出	145,000	145,000	当初	145,000	145,000	H30からの繰越
				H30⇒R1繰越			
③達成状況	完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当		145,000	
				令和2年度への繰越額(単位:千円)			